

“Create the future with *n*”



2022年3月期第1四半期 決算説明会資料

証券コード 6306

日工株式会社

専務取締役 管理本部長

藤井 博

2021年8月25日

2021年度1Q決算説明

▶ P.3-16

参考資料

▶ P.18-21

会社情報

▶ P.23-27

※本資料の増減数値は単位未満の端数処理により
末端数値が四半期報告書と異なる場合があります。

2022年3月期 1Q実績

(単位：百万円)

第1四半期（4-6月）	実績	対前年同期	対前年増減率
売上高	8,817	+1,546	+21.3%
営業利益	375	▲33	▲8.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	378	▲368	▲49.3%

- ▶ AP事業売上：国内製品、メンテナンスともに増、海外は輸出が減少するも現地法人売上高大幅増
- ▶ BP事業売上：国内製品、メンテナンスともに大幅増
- ▶ 受注高は、AP減、BP大幅増

事業環境

AP事業

21年度1Q（4-6月）	実績（万トン）	対前年同期比
合材製造量	810	99.5%
新規合材	216	98.4%
再生合材	594	99.9%

再生合材比率 73.3%

資料出所：（一社）日本アスファルト合材協会

BP事業

21年度1Q	実績（万m ³ ）	対前年同期比
生コンクリート出荷量	1,855	98.6%

資料出所：全国生コンクリート工業組合連合会・全国生コンクリート協同組合連合会



- ・ **売上 前年同期比大幅増**
→ P.5 業績ハイライト (1)



- ・ **受注高・受注残高ともに前年同期比増**
→ P.5 業績ハイライト (1)
P.19 事業別受注高と受注残高の推移



- ・ **海外子会社売上、対前年同期比大幅増**
→ P.5 業績ハイライト (1)
P.8~9 AP関連事業、AP関連事業 (内訳推移)



- ・ **営業利益、営業利益率、四半期純利益ともに対前年同期比減**
→ P.5~6 業績ハイライト (1) (2)

対前年同期実績

- ▶ 売上 : 国内AP製品増 (+10.6億円)、BP製品増 (+4.9億円)、海外増 (+7.3億円)、環境及び搬送減 (▲1.0億円)、その他事業売上増 (+0.8億円)
- ▶ 営業利益 : AP戦略的受注物件の売上、研究開発費の増により減益
- ▶ 四半期純利益 : 前期にあった前田道路(株)の特別配当金分割落(▲3.4億円)、有価証券売却益 (+0.8億円)
- ▶ 受注 : AP事業 (▲7.3億円)、BP事業 (+10.8億円)、環境搬送 (▲2.2億円)、その他事業 (+1.6億円)
- ▶ 受注残 : AP事業 (▲9.9億円)、BP事業 (+13.3億円)、環境搬送 (+3.6億円)、その他事業 (+1.7億円)

(単位: 百万円)

	2020年度			2021年度				
	1Q実績	上期実績	通期実績	1Q実績	前年同期比	上期予想 進捗率	上期予想	通期予想
売上高	7,271	18,225	37,866	8,817	+1,546 +21.3%	46.4%	19,000	39,000
営業利益	408	1,000	2,302	375	▲33 ▲8.1%	34.1%	1,100	2,300
営業利益率	5.6%	5.5%	6.0%	4.2%	▲1.4pt	—	5.7%	5.9%
経常利益	979	1,588	2,973	519	▲460 ▲47.0%	39.9%	1,300	2,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	746	1,099	2,082	378	▲368 ▲49.3%	44.5%	850	1,700
受注高	9,469	19,036	40,009	9,753	+284 +3.0%	47.6%	20,500	41,000
受注残高	14,417	13,030	14,361	15,298	+881 +6.1%	—	15,861	16,361

(単位: 円)

為替レート (EUR)	121.65	126.48	124.06	—	—	—	—	135.00
為替レート (RMB)	15.19	16.12	15.66	—	—	—	—	16.00

2021年度 1Q業績ハイライト (2)

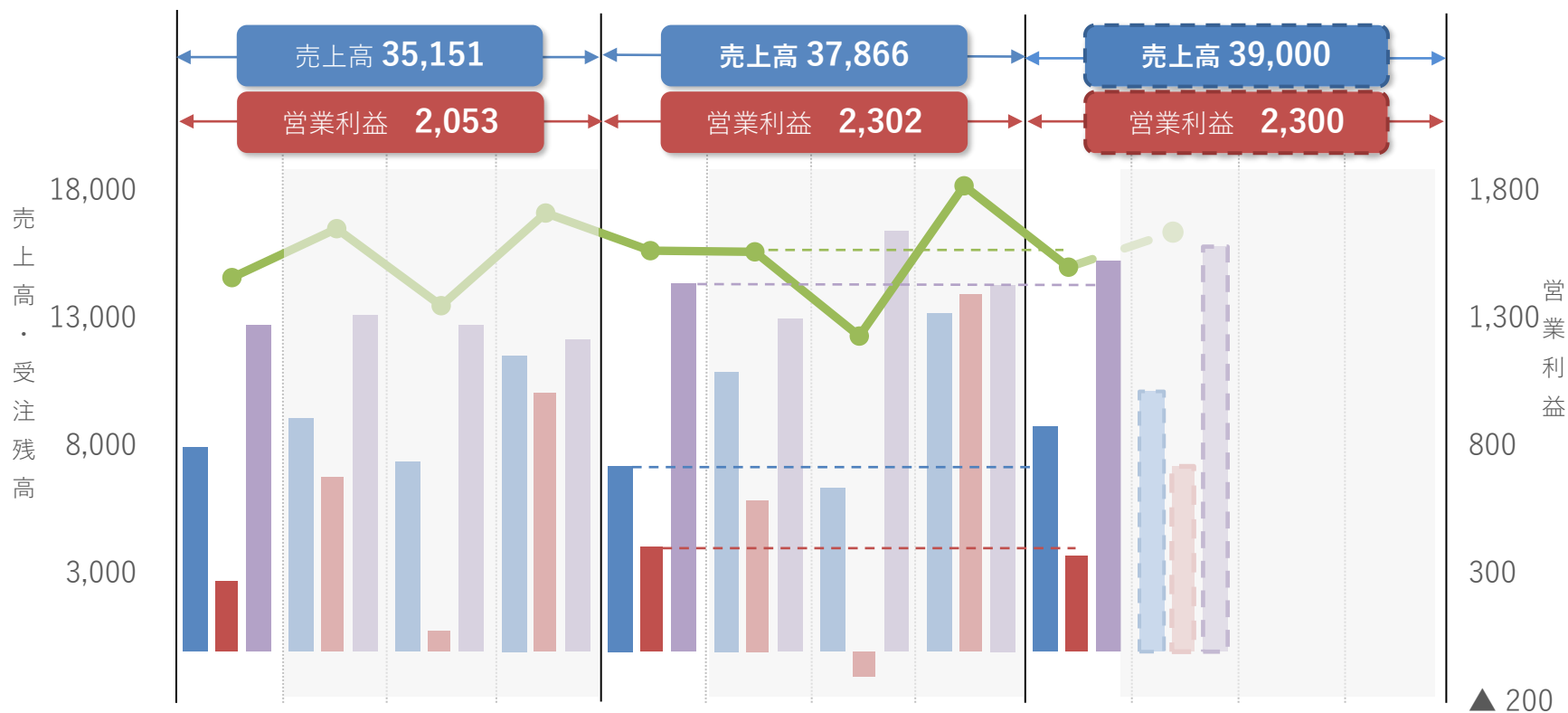
(単位：百万円)

		2020年度			2021年度				
		1Q実績	上期実績	通期実績	1Q実績	前年同期比	上期予想 進捗率	上期予想	通期予想
AP関連事業	売上高	3,991	8,667	17,518	5,058	+1,067 +26.7%	50.1%	10,100	20,000
	営業利益	340	676	1,118	199	▲141 ▲41.4%	29.3%	680	1,250
	営業利益率	8.5%	7.8%	6.4%	3.9%	▲4.6pt	—	6.7%	6.3%
BP関連事業	売上高	1,478	4,569	9,158	1,972	+494 +33.4%	38.1%	5,170	9,600
	営業利益	88	297	761	196	+108 +122.7%	40.0%	490	850
	営業利益率	6.0%	6.5%	8.3%	9.9%	+3.9pt	—	9.5%	8.9%
環境及び搬送 関連事業	売上高	524	1,353	2,634	424	▲100 ▲19.1%	35.6%	1,190	2,400
	営業利益	114	219	562	66	▲48 ▲42.1%	30.0%	220	450
	営業利益率	21.8%	16.2%	21.3%	15.6%	▲6.2pt	—	18.5%	18.8%
その他事業	売上高	1,275	2,549	5,840	1,361	+86 +6.7%	45.7%	2,980	7,000
	営業利益	171	448	1,020	157	▲14 ▲8.2%	26.6%	590	1,150
	営業利益率	13.4%	17.6%	17.5%	11.5%	▲1.9pt	—	19.8%	16.4%
全社費用		▲305	▲683	▲1,409	▲244	+61	36.4%	▲670	▲1,400

- ▶ AP関連事業売上高 : 国内事業売上高 対前年同期比+10.8%、海外事業売上高 対前年同期比 +84.8%
- ▶ BP関連事業売上高 : 対前年同期比+33.4%
- ▶ 環境及び搬送関連事業売上高 : 対前年同期比▲19.1%
- ▶ その他事業売上高 : 対前年同期比 +6.7%

四半期別売上高・営業利益推移

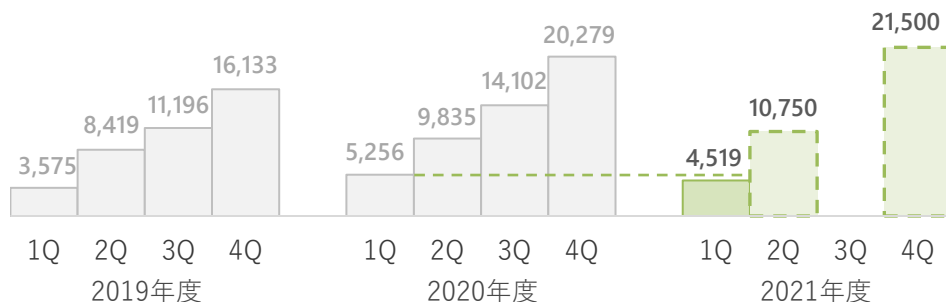
(単位：百万円)



	2019年度				2020年度				2021年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	8,001	9,138	7,422	10,589	7,271	10,954	6,407	13,234	8,817	10,183		
営業利益	276	683	81	1,013	408	592	▲96	1,398	375	725		
営業利益率	3.4%	7.5%	1.1%	8.7%	5.6%	5.4%	▲1.4%	10.6%	4.2%	7.1%		
受注残高	12,773	13,158	12,769	12,219	14,417	13,030	16,479	14,361	15,298	15,861		

受注高

(累計) (単位：百万円)



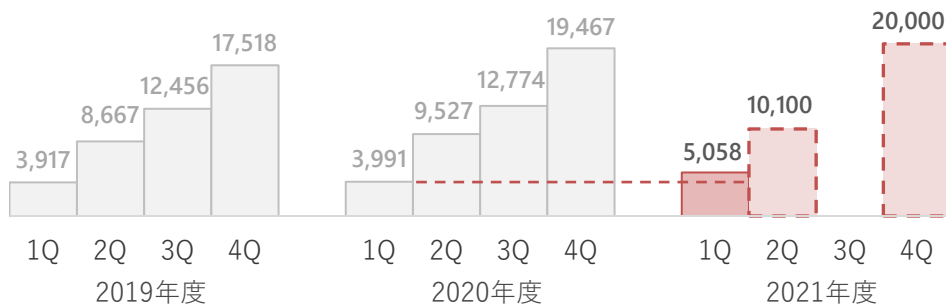
受注高

・受注高：▲14.0%

(要因)

- + 要因 海外：中国は、前年のコロナ影響による落ち込みから回復
- ▲要因 国内：2Q受注へずれ込み 2件

売上高



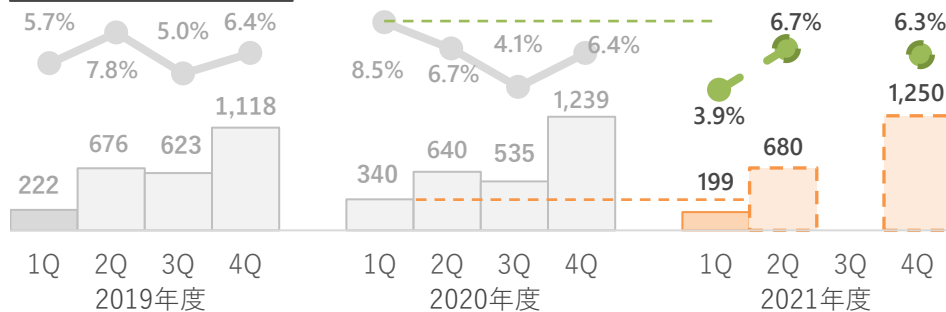
売上高

- ・国内売上高：対前年同期比 +10.7%
- ・海外売上高：対前年同期比 +84.7%

(要因)

- 国内：AP3台の内2台が大型プラントであり増加
- 中国：コロナ前に回復
- タイ：受注案件1台売上

営業利益・営業利益率



営業利益

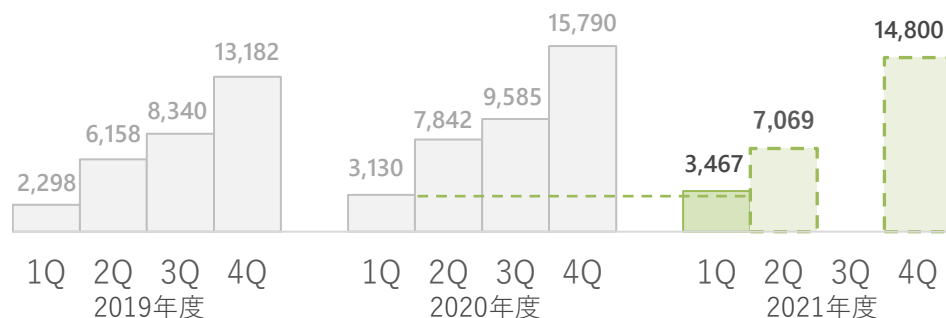
営業利益：対前年同期比 ▲41.4%
 営業利益率：対前年同期比 ▲4.6pt

(要因)

- ・国内：AP赤字案件2件を売上（合計売上高5.7億円）
- ・中国：鋼材価格・人件費上昇により粗利益率ダウン

国内売上高

（累計）（単位：百万円）



国内

- ・プラント製品、対前年同期比 +8.0%
- ・メンテナンス、対前年同期比 +12.5%

海外売上高



海外

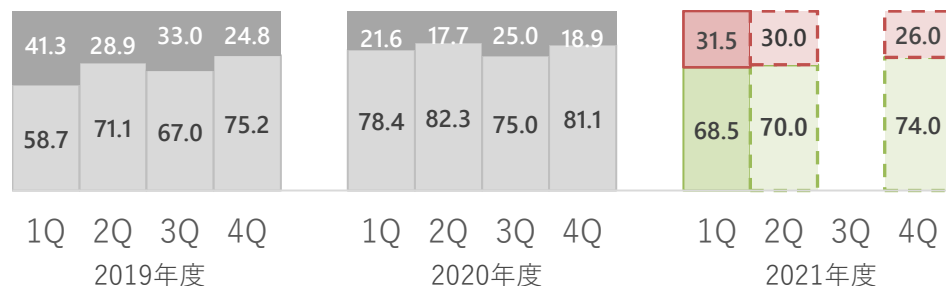
- ・対前年同期比 +84.7%
 - ・輸出、対前年同期比 ▲30.9%
 - ・中国：対前年同期比 +79.1%
 - ・タイ：第1号プラント売上

※日工上海

昨年の新型コロナウイルスの反動もあり、特に高速道路向けバージンプラントの需要が増
1Q予算7物件に対し、実績9物件
対予算売上達成率128%（メンテナンス除く）

海外比率

国内 海外 （単位：%）

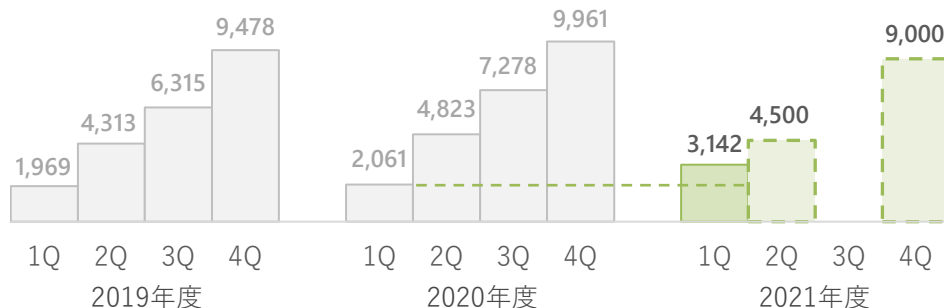


※ NIKKO ASIA (THAILAND)

タイ大手アスファルト販売トップメーカーである
TIPCO Asphalt 社と代理店契約を締結し2台受注
引続き商談が今期10台あり好調な滑り出しとなっている

受注高

(累計) (単位：百万円)



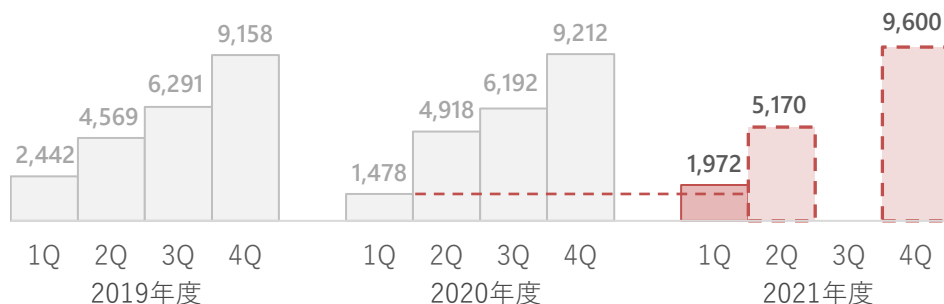
▶ 受注高

対前年同期比 +52.4%

(要因)

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の決定、生コン単価の安定によりユーザーの高い投資意欲が継続

売上高



▶ 売上高

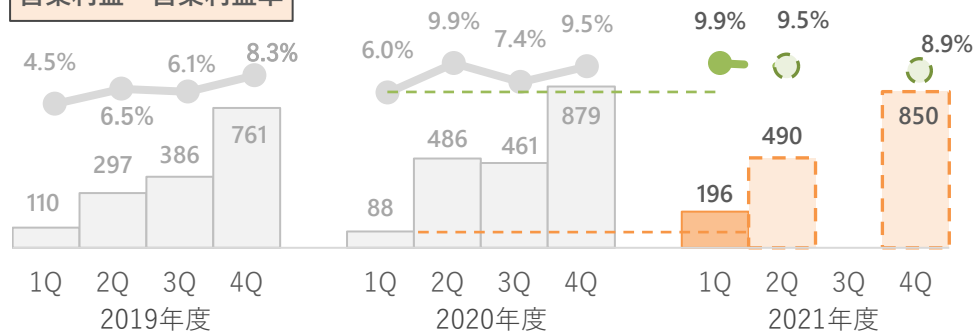
対前年同期比 +33.4%

- ・プラント製品、対前年同期比 +41.1%
- ・メンテナンス、対前年同期比 +28.8%

(要因)

5月GW工事物件の増加により、売上高が増加

営業利益・営業利益率



▶ 営業利益

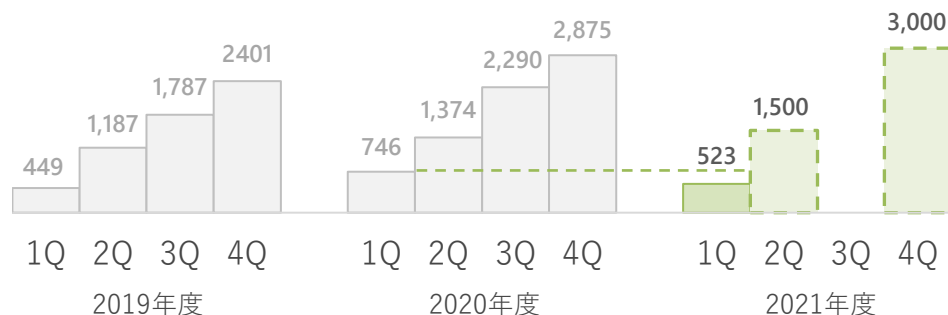
- ・営業利益、対前年同期比 +122.7%
- ・営業利益率、対前年同期比 +3.9pt

(要因)

- ・売上高の増加にともなう営業利益の増加
- ・計画生産によりコストダウンを図ることができ利益率が向上

受注高

(累計) (単位：百万円)



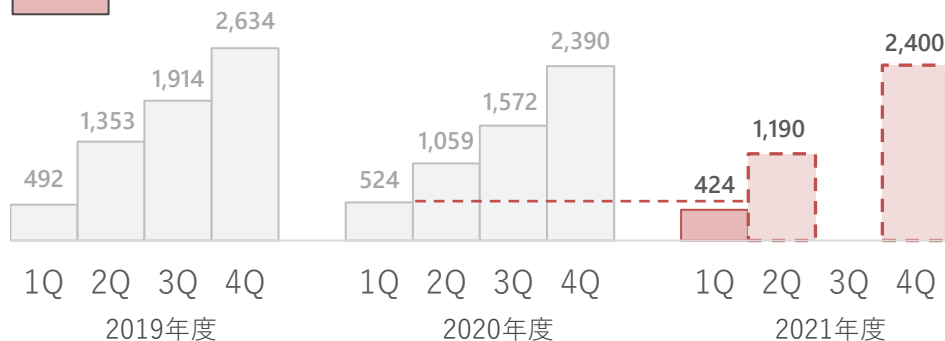
受注高

対前年同期比 ▲29.9%

(要因)

- + 要因 新幹線保全車両用コンベヤ1編成 62百万円 (4Q売上予定)
- ガラスカレット乾燥用ドライヤ 15百万円 (2Q売上予定)
- ▲ 要因 代理店の営業活動の減少が継続し標準品コンベヤ受注減

売上高



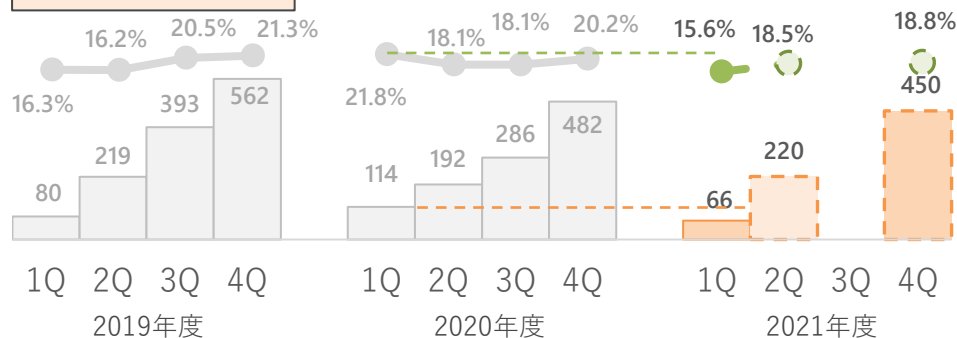
売上高

対前年同期比 ▲19.1%

(要因)

- ・新型コロナウイルスの影響による代理店の営業活動が低調
- ・ユーザーの設備稼働率減少により入替え工事の延期、中止、メンテ部品の減少

営業利益・営業利益率



営業利益

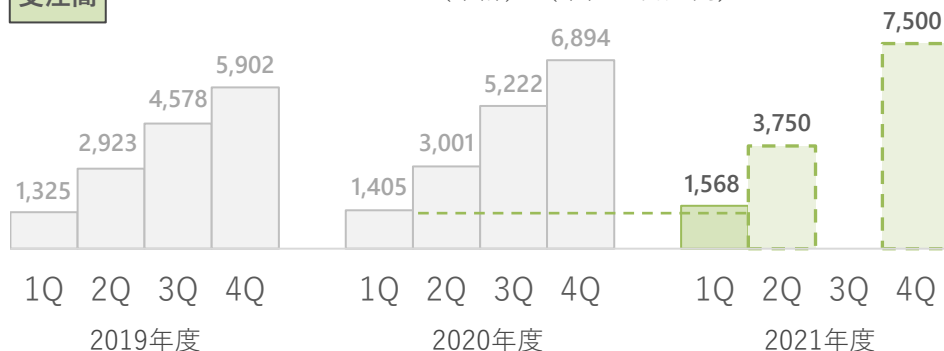
- ・ 営業利益、 対前年同期比 ▲41.0%
- ・ 営業利益率、 対前年同期比 ▲6.2pt

(要因)

売上高減少の影響

受注高

(累計) (単位：百万円)



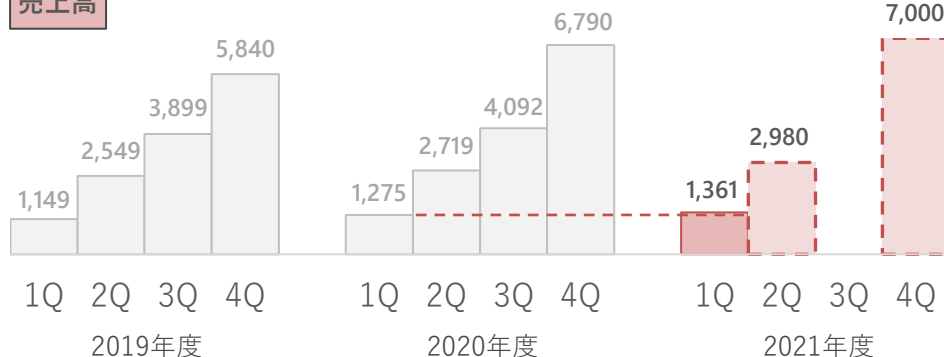
受注高

・セグメント全体対前年同期比 +11.6%

(要因)

- ・モバイルプラント製品前年同期 246百万円 (7台)
→ 291百万円 (9台)

売上高



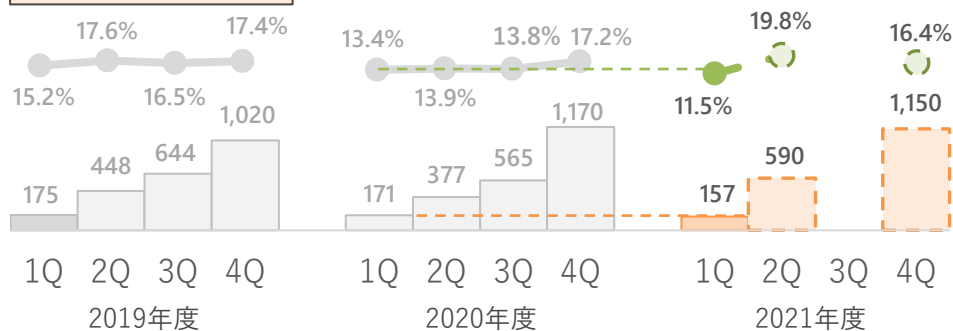
売上高

対前年同期比 +6.7%

(要因)

- + 要因：
 - ・土農工具 前年同期比 +9.3%
 - ・防水板 前年同期比 +9.9%
- ▲ 要因：
 - ・MP製品前年同期 240百万円 (8台)
→ 190百万円 (6台)
 - ・定置式破碎機 前年同期比 ▲22.3%

営業利益・営業利益率



営業利益

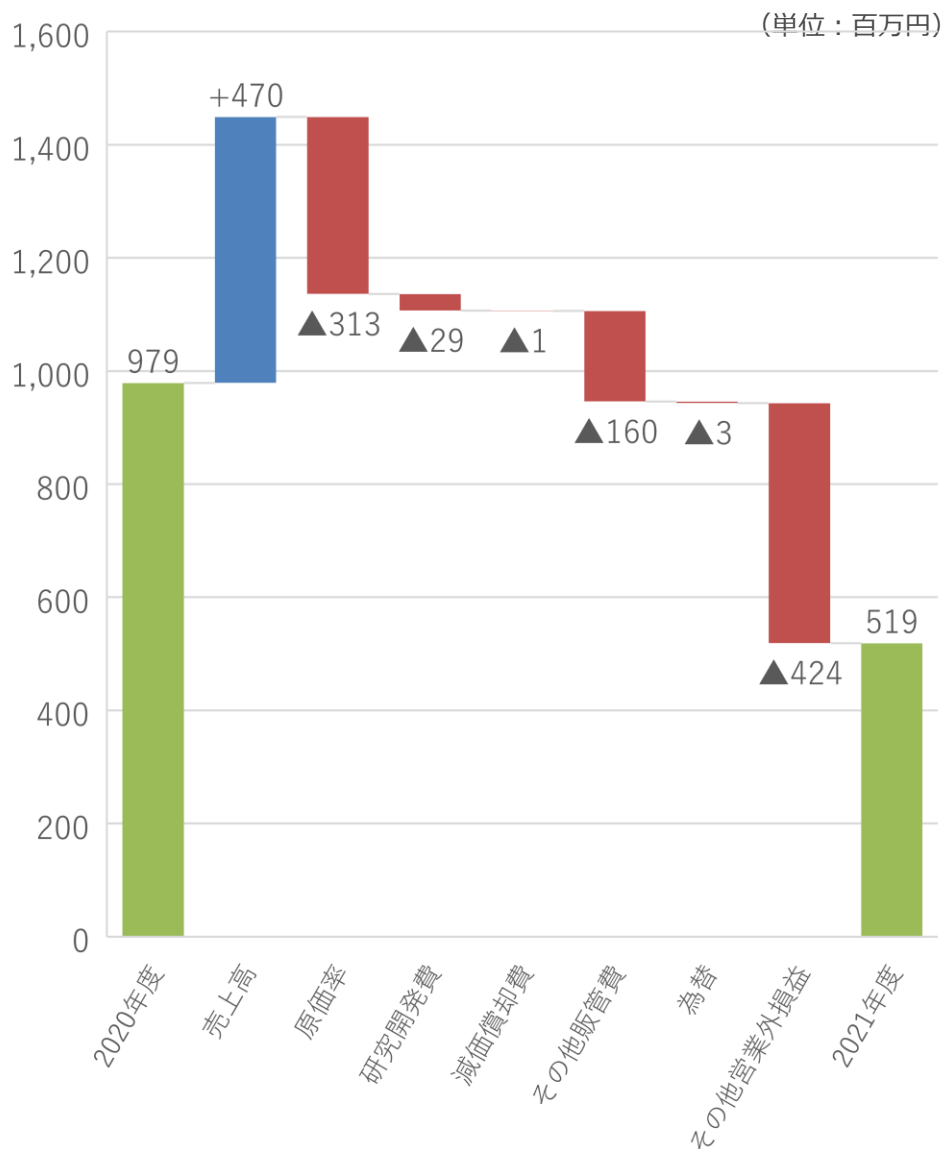
- ・営業利益、前年同期比 ▲8.2%
- ・営業利益率、前年同期比 ▲1.9pt

(要因)

モバイルプラント、破碎機の売上減少

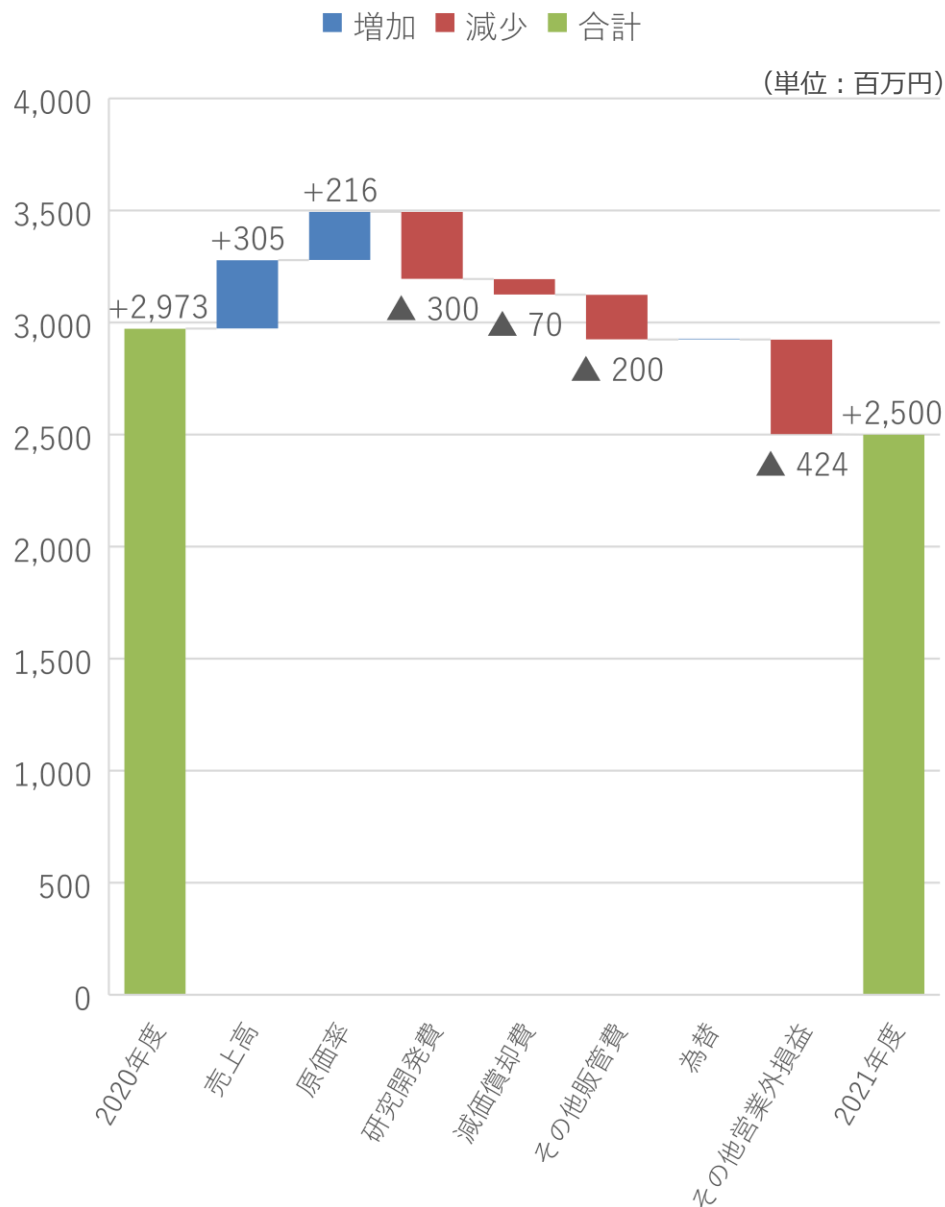
2021年度1Q 経常利益 増減要因分析

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



項目	影響額	内容
売上高	+470	売上高の増加 +1,546百万円
原価率	▲313	原価率上昇 69.6%→73.1%
研究開発費	▲29	
減価償却費	▲1	
その他販管費	▲160	
その他営業外 (配当金収入)	▲424	特別配当金 344百万円剥落

2021年度通期 経常利益 増減要因分析 (予想)



(単位：百万円)

項目	影響額	内容
売上高	+305	売上高の増加 +1,134
原価率	+216	原価率の改善 73.1%→72.5%
研究開発費	▲300	
減価償却費	▲70	
その他販管費	▲200	
その他営業外 (配当金収入)	▲424	特別配当金 344百万円剥落

(単位：百万円)

		2020年度 1Q	2021年度 1Q	増減	増減の主な要因
資産	流動資産	31,641	32,500	+859	増加：現金及び預金 +1437百万円 電子記録債権 +284百万円 仕掛品 +815百万円 原材料及び貯蔵品 +350百万円 減少：受取手形及び売掛金 ▲792百万円 商品及び製品 ▲980百万円 その他 ▲267百万円
	有形固定資産	7,739	9,225	+1,485	増加：建物及び構築物 +242百万円 機械装置及び運搬具 +143百万円 土地 +563百万円 減少：投資有価証券 ▲187百万円
	無形固定資産	427	658	+230	
	投資その他	6,676	6,360	▲315	
総資産合計		46,484	48,744	+2,259	

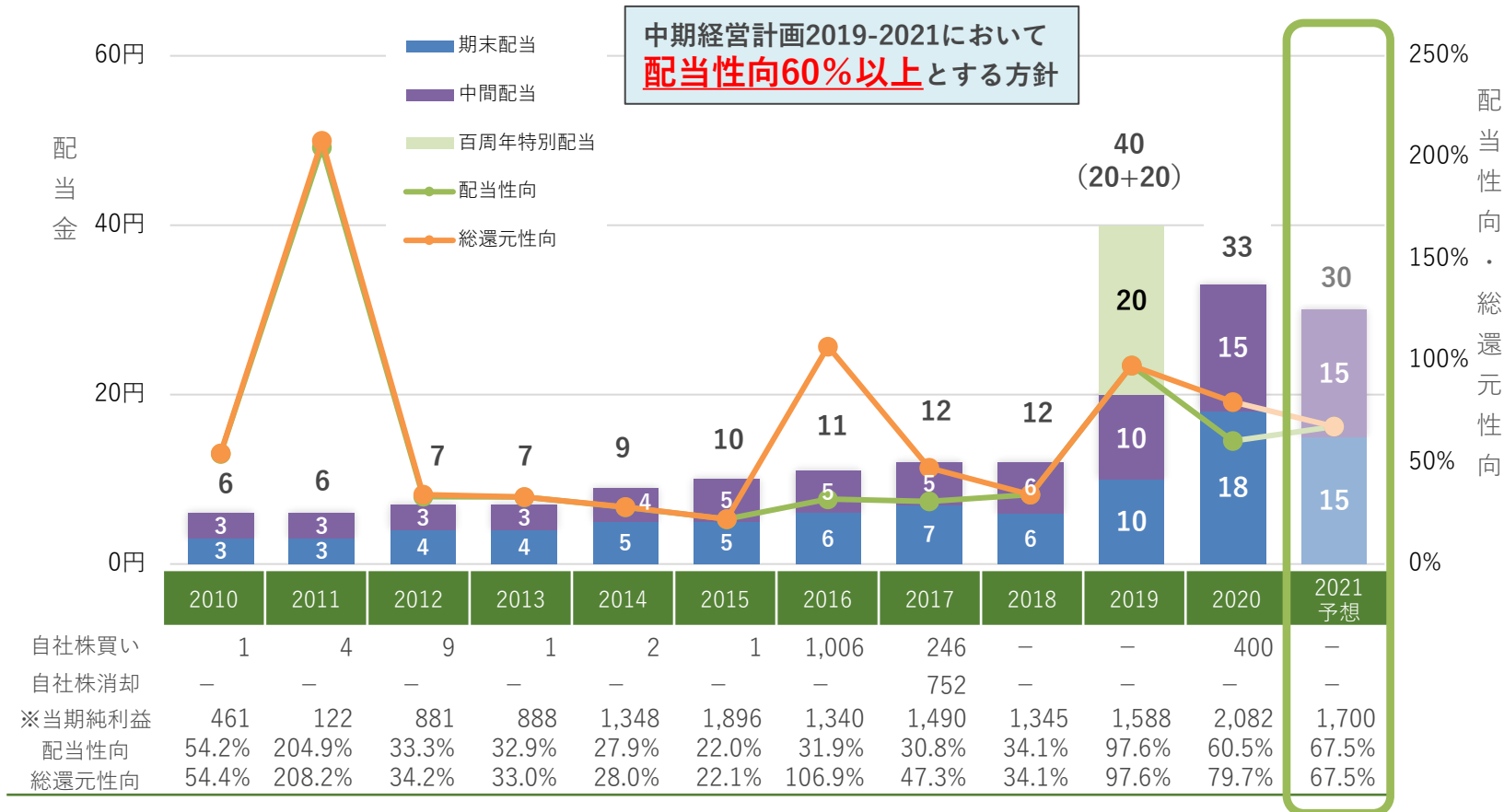
負債	流動負債	13,192	14,853	+1,661	増加：支払手形及び買掛金 +546百万円 短期借入金 +567百万円 未払金 +141百万円 前受金 +1,119百万円 減少：電子記録債務 ▲323百万円 ファクタリング未払金 ▲224百万円 退職給付に係る負債 ▲109百万円
	固定負債	2,960	2,781	▲179	
純資産合計		30,332	31,109	+777	増加：利益剰余金 +454百万円 為替換算調整勘定 +225百万円 その他有価証券評価差額金 +243百万円 退職給付に係る調整累計額 +118百万円 減少：自己株式 ▲270百万円
1株当たり純資産（円 銭）		785.23	813.40	+28.17	

※当社は、2019年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。

1株当たり純資産は、2018年度連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

● 株主還元の強化

□ 2022年3月期の配当金30円（中間15円、期末15円）
（配当性向67.5%）予定



★2019年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しており、分割後の配当金額に統一して記載しています
※当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）

2021年度1Q決算説明

▶ P.3-16

参考資料

▶ P.18-21

会社情報

▶ P.23-27

売上高・利益・キャッシュフロー等の推移

(単位：百万円)

	19年度				20年度				21年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	8,001	9,139	7,422	10,589	7,271	10,954	6,407	13,234	8,817			
AP関連事業	3,917	4,750	3,789	5,062	3,991	5,536	3,247	6,693	5,058			
BP関連事業	2,442	2,127	1,722	2,867	1,478	3,440	1,274	3,020	1,972			
環境及び搬送関連事業	492	861	561	720	524	535	513	818	424			
その他事業	1,149	1,400	1,350	1,941	1,275	1,444	1,373	2,698	1,361			
営業利益	276	683	81	1,013	408	592	▲96	1,398	375			
AP関連事業	222	454	▲53	495	340	300	▲105	704	199			
BP関連事業	110	187	89	375	88	398	▲25	418	196			
環境及び搬送関連事業	80	139	174	169	114	78	94	196	66			
その他事業	175	273	196	376	171	206	188	605	157			
全社費用	▲313	▲370	▲322	-404	▲305	▲391	▲248	▲525	▲244			
経常利益	361	673	129	979	979	609	▲89	1,474	519			
親会社株主に帰属する当期純利益	270	733	▲33	618	746	353	▲133	1,116	378			

営業CF	3,809				2,784							
投資CF	▲609				▲1,867							
配当金総額	229	—	775	—	775	—	572	—				
自社株取得額	0				400							

事業別受注高と受注残高の推移（累計ベース）

（単位：百万円）

受注高（累計）	19年度				20年度				21年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
AP関連事業	3,575	8,419	11,196	16,133	5,256	9,835	14,102	20,279	4,519			
BP関連事業	1,969	4,313	6,315	9,478	2,061	4,823	7,278	9,961	3,142			
環境及び搬送関連事業	449	1,187	1,787	2,401	746	1,374	2,290	2,875	523			
その他	1,325	2,923	4,578	5,902	1,405	3,001	5,222	6,894	1,568			
合計	7,320	16,843	23,877	33,915	9,469	19,036	28,893	40,009	9,753			

期末受注残高	19年度				20年度				21年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
AP関連事業	8,466	8,561	7,548	7,424	8,688	7,732	8,751	8,235	7,696			
BP関連事業	2,967	3,184	3,464	3,760	4,342	3,665	4,845	4,508	5,678			
環境及び搬送関連事業	342	219	258	152	373	467	869	636	734			
その他	997	1,194	1,498	883	1,013	1,165	1,553	981	1,187			
合計	12,773	13,158	12,769	12,219	14,417	13,030	16,479	14,361	15,298			

(単位：百万円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
設備投資	292	335	844	815	877	1,261	550	1,889	1,483	2,748
減価償却費	432	389	395	422	487	482	472	508	611	677
研究開発費	239	256	295	276	227	271	291	211	379	392

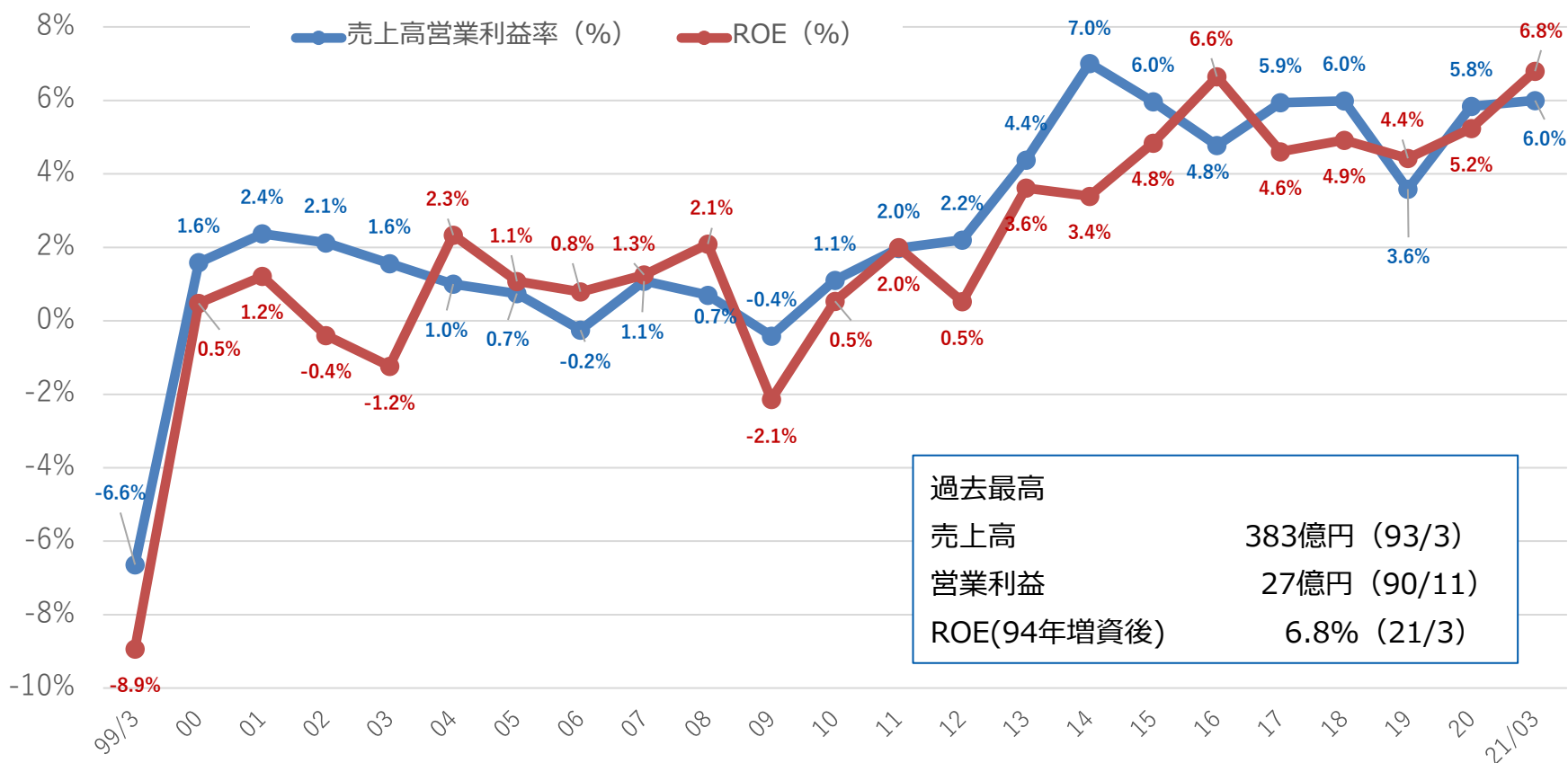
(単位：人、歳、年)

連結従業員数	775	763	767	796	803	797	807	799	838	861
従業員平均年齢(単体)	44.2	44.7	43.3	43.1	42.2	42.3	42.2	40.9	41.1	41.1
平均勤続年数(単体)	21.5	21.2	20	19.3	18.2	18.5	18.3	16.0	15.8	15.4
女性社員数(単体)	28	31	31	33	39	42	42	45	51	55
新卒採用者数(単体)	13	15	21	21	30	17	19	15	14	29
新卒女性社員採用数(単体)	1	0	1	3	1	2	0	0	0	3
女性社員採用割合(単体)	7.6%	0%	4.7%	14.2%	3.3%	11.7%	0%	0%	0%	10.3
外国人採用数(単体)	1	0	6	0	0	0	1	1	0	1
外国人従業員数(単体)	2	2	8	6	6	6	7	8	5	5
外国人従業員(連結)	92	90	91	95	94	93	101	98	116	116
海外従業員数(連結)	92	90	91	95	92	91	101	98	123	121

環境負荷軽減新製品

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
新製品名	【砂専用乾燥装置】 【高温予熱バーナ】	【NTB- II バーナ】	【新型バグフィルタ】	【VPシリーズAP】	—	【フォームドAS製造装置】
環境負荷軽減項目	・プラント生産効率UP ・省エネルギー	・省エネルギー ・燃焼領域での燃焼効率UP	・省スペース ・省エネルギー ・排ガス量低減 ・低騒音	・再生材の臭気ガス拡散防止	—	・中温化合物の製造対応

営業利益率・ROE



過去最高
 売上高 383億円 (93/3)
 営業利益 27億円 (90/11)
 ROE(94年増資後) 6.8% (21/3)

(単位: 百万円)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20/03	21/03
売上高	22,157	22,595	23,170	24,307	24,812	24,864	22,175	25,035	26,942	23,856	23,971	23,803	24,553	27,087	32,073	30,707	34,110	32,717	35,114	31,780	35,151	37,866
営業利益 (損失)	352	536	492	379	248	185	▲ 55	271	189	▲ 98	265	470	541	1,186	2,249	1,832	1,629	1,944	2,103	1,427	2,053	2,302
経常利益	201	846	664	688	492	537	350	699	545	482	899	812	621	1,108	1,982	1,582	1,648	1,993	2,239	1,576	2,142	2,973
当期純利益 (損失)	121	298	▲ 93	▲ 284	567	265	203	315	513	▲ 499	124	461	122	881	888	1,348	1,896	1,340	1,490	1,345	1,588	2,082

2021年度1Q決算説明

▶ P.3-16

参考資料

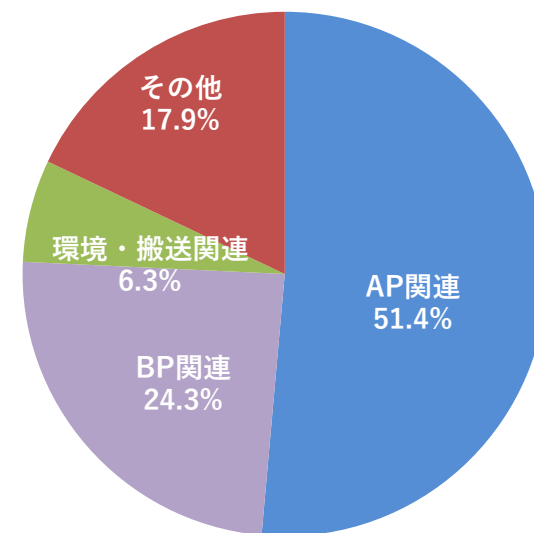
▶ P.18-21

会社情報

▶ P.23-27

会社名	日工株式会社 (Nikko Co., Ltd)	
本社住所	兵庫県明石市大久保町江井ヶ島1013-1	
創立	1919年 (大正8年) 8月13日	
資本金	91億97百万円	(2021年3月末)
連結売上高	378億66百万円	(2021年3月期)
連結営業利益	23億02百万円	(2021年3月期)
海外売上高比率	9.9%	(2021年3月期)
子会社数	10社	(2021年3月期)
連結従業員数	861名	(2021年3月末)
企業統治体制	監査役会設置会社 取締役7名 (うち社外2名) 監査役4名 (うち社外3名) (2021年3月末)	

事業別売上構成比率 (2020年度)



※AP=アスファルトプラント
BP=バッチャープラント(コンクリート)



経営理念

日工グループは、「お客様第一主義」を経営理念とし、お客様に真に満足いただける製品とサービスを提供するとともに、広く社会から信頼され、お客様と共に発展する“ソリューションパートナー”となることを使命に、自己変革してまいります。

取締役社長 **辻 勝**

製品展開	生産拠点展開	海外展開	国内グループ展開 (買収・譲渡含む)
1919 創立 トンボ印の農土木工具	1919 本社工場	1993 独ベニングホーヘン資本出資	1968 市石工業所 (M&A)
1951 コンクリートミキサー ・ウィンチ	1938 産機工場	1994 独ニッコーバウマーシーネン	1971 日工電子工業 (設立)
1956 生コンプラント	1968 東京工場	1997 台湾台北	1983 日エマシナリー (設立)
1958 アスファルトプラント	1994 幸手工場	2001 日工 (上海) 工程機械	1994 トンボ工業 (設立)
1962 パイプサポート	2004 上海嘉定工場	2010 山推礎天工程機械	1995 日エセック (設立)
1963 パイプ足場	2014 加古川工場	2020 日エアジア (タイ)	2002 新潟鉄工所 (事業譲受)
1966 コンベア・搬送システム	2016 福崎工場	2020 日エニルコソル (タイ)	2006 三菱重工業 (事業譲受)
1983 水門			2008 前川工業所 (M&A)
2000 油汚染土壌浄化システム			
2001 廃プラスチック処理システム			
2007 コンクリートポンプ			
2015 破砕機 (輸入販売)			



日エグループ経営ビジョン

*n*からはじまる未来創造

アスファルト・バッチャープラントのリーディングカンパニーであり続けます。

海外事業を拡大しアジアマーケットにおけるNo.1メーカーを目指します。

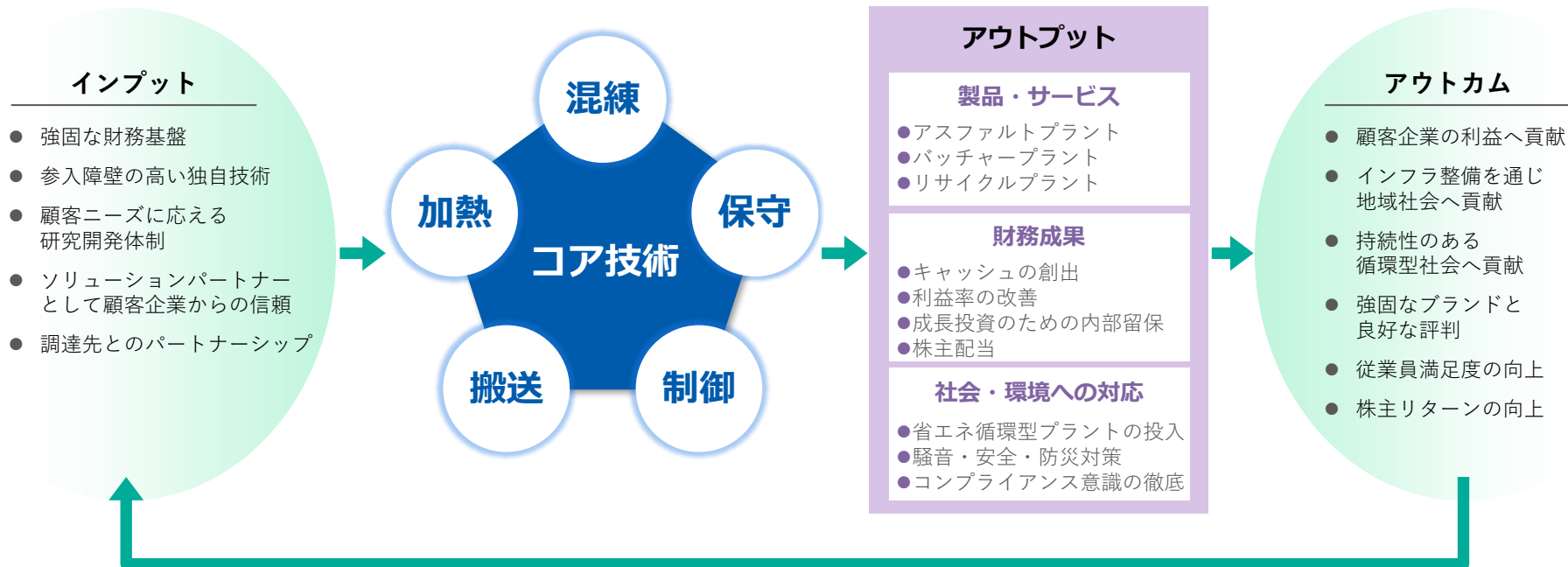
当社のコア技術「加熱」「混練」「搬送」「制御」をブラッシュアップし事業拡大を行います。

社会貢献できる未来創造企業であり続けます。

代表取締役社長

辻 勝

“街をつくるキカイ”を提供して1世紀。循環型社会の構築に貢献



2021年度予想

売上高

390億円

営業利益率

5.9%

▶ ビジネスフロー





*n*からはじまる未来創造

ミーティングのご希望などございましたら、お気軽に以下宛ご連絡ください

(オンラインミーティング、東京でのミーティングも可能です)

TEL 078-947-3141 IR-nikko@nikko-net.co.jp

日工株式会社 財務本部 八軒（はちけん）宛

-
- 当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。
 - 当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、投資判断を決定する場合には、当資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。
 - また、当資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更する事もありますので、ご了承ください。